

糖尿病の医療体制構築に係る指標

区分	指標 (●:重点指標、○:参考指標)	現 状			数値目標	施策等	
		福井県	全国平均	備考			
初期・安定期	ストラクチャー	○ 糖尿病内科(代謝内科)の医師数 【医師・歯科医師・薬剤師】	糖尿病内科(代謝内科) 医師数:19人 (福井・坂井16人、奥越0人、丹南1人、嶺南2人) 2.4人/10万人対	糖尿病内科(代謝内科) 医師数:4,446 3.5人/10万人	医師届出票で「糖尿病内科(代謝内科)」と届出をした医師数 調査年:平成26年	-	・「元氣な福井の健康づくり応援計画」等に沿って事業等を実施。
		○ 糖尿病内科(代謝内科)を標榜する医療機関数 【医療施設調査】	診療所:1施設 (福井・坂井1、奥越0、丹南0、嶺南0) 0.1/10万人対 病院:11施設 (福井・坂井8、奥越0、丹南2、嶺南1) 1.4/10万人対	診療所:9.1施設 0.3施設/10万人対 病院:24.4 0.9施設/10万人対	調査年:平成26年	-	・(公社)福井県栄養士会が設置した「栄養ケア・ステーション」を活用し糖尿病患者教育を推進。
	プロセス	● 特定健診受診率	48.9%	50.1%	医療保険者から国に報告された特定健康診査の実施結果 調査年:平成27年	特定健康診査の受診率: 70%以上	
		○ 特定保健指導実施率	22.5%	17.5%	医療保険者から国に報告された特定保健指導の実施結果 調査年:平成27年	特定保健指導の実施率: 45%以上	
初期・安定期 強化 急性増悪時 慢性合併症	アウトカム	○ 尿中アルブミン(定量)検査の実施件数	1,321件/10万人対	1,627件/10万人対	厚生労働省第2回NDBオープンデータ	尿中アルブミン検査の実施件数:全国平均以上 (10万人対)	
		糖尿病連携手帳等を活用して連携している施設数	70施設	-	調査年:平成29年9月	糖尿病連携手帳等を活用して連携している施設の割合: 40%以上	・糖尿病連携手帳の活用等により患者情報を共有し、紹介、逆紹介等の連携を強化し、病状に応じた医療が適切に提供できる体制を構築
初期・安定期	○ 年齢調整死亡率 【人口動態調査】	男性:6.3%【34位】 女性:1.8%【2位】	男性:5.5% 女性:2.5%	調査年:平成27年	-		
初期・安定期	糖尿病が強く疑われる者の数・うち治療中の者の数 【国民健康・栄養調査、県民健康・栄養調査】	糖尿病が強く疑われる者 6.5% うち治療中の者 80%	糖尿病が強く疑われる者 12.1% うち治療中の者 76.6%	調査年:平成28年	-		
強化	ストラクチャー	○ 教育入院を行う医療機関数	医療機関数:6施設 0.7施設/10万人対	0.1施設/10万人対	日本糖尿病協会 調査年:平成27年度	-	・医療従事者を対象とした糖尿病の診断、治療、管理、合併症対応のための研修会を実施し、糖尿病に関する専門性を強化。
		○ 1型糖尿病に対する専門的治療を行う医療機関数	医療機関数:15施設 1.9施設/10万人対	医療機関数:1,363施設 1.1施設/10万人対	NDBデータ 調査年:平成30年	-	・研修を通じて、医療機関における療養指導医資格、糖尿病療養指導士資格、地域糖尿病療養指導士の取得を促進。
強化 急性増悪時	○ 糖尿病専門医数	糖尿病専門医:29人 3.6人/10万人対	4.1人/10万人対	日本糖尿病学会 登録数 調査年:平成28年10月	糖尿病に関する専門知識を有する医療従事者数: 毎年100人以上取得	・糖尿病透析予防を実施している病院との連携促進。	
強化 急性増悪時 慢性合併症	アウトカム	退院患者平均在院日数 【患者調査】	55.5日 (福井・坂井59.3日、奥越27.8日、丹南53.1日、嶺南31.2日)	35.1日	傷病分類「糖尿病」の退院患者平均在院日数 調査年:平成26年	-	
急性増悪時	ストラクチャー	急性合併症の治療を行う医療機関数	24施設	-	医療機能調査 調査年:平成29年	-	
慢性合併症	アウトカム	○ 糖尿病足病変の管理が可能な医療機関数 【診療報酬施設基準】	14施設 (福井・坂井11、奥越1、丹南1、嶺南1)	-	調査年:平成30年3月	-	・(公社)福井県栄養士会が設置した「栄養ケア・ステーション」を活用し糖尿病患者教育を推進。
		糖尿病による失明発症率	6.9%	-	平成28年度糖尿病により身体障害者手帳(1級~6級)の交付を受けた者の数	-	
		糖尿病性腎症による新規透析導入率	12.8/10万人対	12.6/10万人対	H27調査 日本透析医学会	・尿中アルブミン検査の実施件数(人口10万人対): 全国平均以上 ・糖尿病性腎症による新規透析導入患者に占める70歳未満の患者の割合:減少 ・糖尿病透析予防指導管理を行う施設数: 10箇所以上	
	○ 糖尿病患者の新規下肢切断術の件数	患者数:38人 4.9人/10万人対	患者数:7,852人 6.2/10万人対	NDBデータ 調査年:平成30年	-		